

事業番号	★ D 4 - 5 - 2	1/1
要綱上の事業名称	(23) 避難誘導機器整備事業	
細要素事業名	停電時避難誘導用ソーラー街路灯整備事業（赤井地区・柳の目北）	
全体事業費	12,960（千円）	
<p>【事業概要】 東日本大震災にて、本市では死者・行方不明者が1千名を超える被害があった。災害時には、地震等により停電が発生することから、災害の発生が夜間である場合、初期行動の遅延、避難方向や経路の認識困難、暗闇の中での移動による速度の低下等の要因により、昼間より大きな人的被害となる可能性が高い。日常から安全・安心を啓発し、非常時には迅速かつ適切な避難を支援するため、独立して電源を確保できる避難誘導灯（ソーラー型）を整備し、防災・減災のまちづくりを進めるもの。 （平成27年度整備予定箇所） 赤井地区・柳の目北 8基 ※宮戸地区11基、立沼地区12基の計23基は、★D23-2-76にて申請予定。 野蒜地区8基は★D15-2-4、大曲地区6基は★D17-6-4にて申請予定。</p> <p>【基幹事業との関連性】 災害公営住宅整備事業により、新たに住宅が整備される赤井地区・柳の目北において、避難場所・避難所等への道筋に避難誘導灯を整備することで、夜間でもスムーズな避難を促し、防災・減災機能の強化を図ることができる。</p> <p>【事業予算内訳】 （平成27年度整備予定事業費） 避難誘導灯設置（設置費用含む）一式 67,500千円（@1,500千円×45基） 消費税（8%） 5,400千円 合 計 72,900千円</p> <p>（★D4-5-2における申請事業費） 避難誘導灯設置（設置費用含む）一式 12,000千円（@1,500千円×8基） 消費税（8%） 960千円 合 計 12,960千円</p> <p>参考（★D23-2-76における申請事業費） 避難誘導灯設置（設置費用含む）一式 34,500千円（@1,500千円×23基） 消費税（8%） 2,760千円 合 計 37,260千円</p> <p>（★D15-2-4における申請事業費） 避難誘導灯設置（設置費用含む）一式 12,000千円（@1,500千円×8基） 消費税（8%） 960千円 合 計 12,960千円</p> <p>（★D17-6-4における申請事業費） 避難誘導灯設置（設置費用含む）一式 9,000千円（@1,500千円×6基） 消費税（8%） 720千円 合 計 9,720千円</p> <p style="text-align: right;">以上</p>		

※ この様式は、原則として、参考様式第29及び参考様式第32の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 「全体事業費」は、細要素事業（当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。）について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

事業番号	★ D 15 - 2 - 4	1/1
要綱上の事業名称	(23) 避難誘導機器整備事業	
細要素事業名	停電時避難誘導用ソーラー街路灯整備事業（野蒜地区）	
全体事業費	12,960（千円）	
<p>【事業概要】 東日本大震災にて、本市では死者・行方不明者が1千名を超える被害があった。災害時には、地震等により停電が発生することから、災害の発生が夜間である場合、初期行動の遅延、避難方向や経路の認識困難、暗闇の中での移動による速度の低下等の要因により、昼間より大きな人的被害となる可能性が高い。日常から安全・安心を啓発し、非常時には迅速かつ適切な避難を支援するため、独立して電源を確保できる避難誘導灯（ソーラー型）を整備し、防災・減災のまちづくりを進めるもの。 （平成27年度整備予定箇所） 野蒜地区 8基 ※宮戸地区11基、立沼地区12基の計23基は、★D23-2-76にて申請予定。 赤井地区・柳の目北8基は★D4-5-2、大曲地区6基は★D17-6-4にて申請予定。</p> <p>【基幹事業との関連性】 野蒜北部丘陵地区内に新たに整備される津波復興拠点への道筋に避難街路灯を整備することで、夜間でもスムーズな避難を促し、防災・減災機能の強化を図る。</p> <p>【事業予算内訳】 （平成27年度整備予定事業費） 避難誘導灯設置（設置費用含む）一式 67,500千円（@1,500千円×45基） 消費税（8%） 5,400千円 合計 72,900千円 （★D15-2-4における申請事業費） 避難誘導灯設置（設置費用含む）一式 12,000千円（@1,500千円×8基） 消費税（8%） 960千円 合計 12,960千円 参考（★D23-2-76における申請事業費） 避難誘導灯設置（設置費用含む）一式 34,500千円（@1,500千円×23基） 消費税（8%） 2,760千円 合計 37,260千円 （★D17-6-4における申請事業費） 避難誘導灯設置（設置費用含む）一式 9,000千円（@1,500千円×6基） 消費税（8%） 720千円 合計 9,720千円 （★D4-5-2における申請事業費） 避難誘導灯設置（設置費用含む）一式 12,000千円（@1,500千円×8基） 消費税（8%） 960千円 合計 12,960千円</p>		
		以上

- ※ この様式は、原則として、参考様式第29及び参考様式第32の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。
- ※ 「全体事業費」は、細要素事業（当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。）について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。
- ※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

事業番号	★ D 17 - 6 - 4	1/1
要綱上の事業名称	(23) 避難誘導機器整備事業	
細要素事業名	停電時避難誘導用ソーラー街路灯整備事業 (大曲地区)	
全体事業費	9,720 (千円)	
<p>【事業概要】 東日本大震災にて、本市では死者・行方不明者が1千名を超える被害があった。災害時には、地震等により停電が発生することから、災害の発生が夜間である場合、初期行動の遅延、避難方向や経路の認識困難、暗闇の中での移動による速度の低下等の要因により、昼間より大きな人的被害となる可能性が高い。日常から安全・安心を啓発し、非常時には迅速かつ適切な避難を支援するため、独立して電源を確保できる避難誘導灯 (ソーラー型) を整備し、防災・減災のまちづくりを進めるもの。 (平成27年度整備予定箇所) 大曲地区 6基 ※宮戸地区11基、立沼地区12基の計23基は、★D23-2-76にて申請予定。 赤井地区・柳の目北8基は★D4-5-2、野蒜地区8基は★D15-2-4にて申請予定。</p> <p>【基幹事業との関連性】 被災市街地復興土地区画整理事業にて新たに産業用地として整備される大曲地区から避難所への道筋に避難誘導灯を整備することで、夜間でもスムーズな避難を促し、防災・減災機能の強化を図る。</p> <p>【事業予算内訳】 (平成27年度整備予定事業費) 避難誘導灯設置 (設置費用含む) 一式 67,500千円 (@1,500千円×45基) 消費税 (8%) 5,400千円 合 計 72,900千円</p> <p>(★D17-6-4における申請事業費) 避難誘導灯設置 (設置費用含む) 一式 9,000千円 (@1,500千円×6基) 消費税 (8%) 720千円 合 計 9,720千円</p> <p>参考 (★D23-2-76における申請事業費) 避難誘導灯設置 (設置費用含む) 一式 34,500千円 (@1,500千円×23基) 消費税 (8%) 2,760千円 合 計 37,260千円</p> <p>(★D4-5-2における申請事業費) 避難誘導灯設置 (設置費用含む) 一式 12,000千円 (@1,500千円×8基) 消費税 (8%) 960千円 合 計 12,960千円</p> <p>(★D15-2-4における申請事業費) 避難誘導灯設置 (設置費用含む) 一式 12,000千円 (@1,500千円×8基) 消費税 (8%) 960千円 合 計 12,960千円</p> <p style="text-align: right;">以上</p>		

- ※ この様式は、原則として、参考様式第29及び参考様式第32の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。
- ※ 「全体事業費」は、細要素事業 (当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。) について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。
- ※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

参考様式第30及び参考様式第33の別添3
市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 23 - 2 - 76	1/1
要綱上の 事業名称	(23) 避難誘導機器整備事業	
細要素事業名	停電時避難誘導用ソーラー街路灯整備事業（立沼・宮戸地区）	
全体事業費	37,260（千円）	
<p>【事業概要】</p> <p>東日本大震災にて、本市では死者・行方不明者が1千名を超える被害があった。災害時には、地震等により停電が発生することから、災害の発生が夜間である場合、初期行動の遅延、避難方向や経路の認識困難、暗闇の中での移動による速度の低下等の要因により、昼間より大きな人的被害となる可能性が高い。日常から安全・安心を啓発し、非常時には迅速かつ適切な避難を支援するため、独立して電源を確保できる避難誘導灯（ソーラー型）を整備し、防災・減災のまちづくりを進めるもの。</p> <p>（平成27年度整備予定箇所） 立沼地区：12基、宮戸地区：11基 ※赤井地区（柳の目北）8基は、★D4-5-2にて申請予定。 野蒜地区8基は★D15-2-4、大曲地区6基は★D17-6-4にて申請予定。</p> <p>【基幹事業との関連性】</p> <p>防災集団移転事業の移転者は、移転元地において、農業や漁業に従事している。早朝や夜間の災害による停電時に、その移転元地から避難場所・避難所等への道筋を避難誘導灯で照明することにより、暗闇の中においてもスムーズな避難を促し、防災・減災機能の強化を図る。</p> <p>【事業予算内訳】</p> <p>（平成27年度整備予定事業費） 避難誘導灯設置（設置費用含む）一式 67,500千円（@1,500千円×45基） 消費税（8%） 5,400千円 合 計 72,900千円</p> <p>（★D23-2-76における申請事業費） 避難誘導灯設置（設置費用含む）一式 34,500千円（@1,500千円×23基） 消費税（8%） 2,760千円 合 計 37,260千円</p> <p>参考（★D4-5-2における申請事業費） 避難誘導灯設置（設置費用含む）一式 12,000千円（@1,500千円×8基） 消費税（8%） 960千円 合 計 12,960千円</p> <p>（★D15-2-4における申請事業費） 避難誘導灯設置（設置費用含む）一式 12,000千円（@1,500千円×8基） 消費税（8%） 960千円 合 計 12,960千円</p> <p>（★D17-6-4における申請事業費） 避難誘導灯設置（設置費用含む）一式 9,000千円（@1,500千円×6基） 消費税（8%） 720千円 合 計 9,720千円</p>		

- ※ この様式は、原則として、参考様式第30及び参考様式第33の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。
- ※ 「全体事業費」は、細要素事業（当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。）について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。
- ※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

参考様式第30及び参考様式第33の別添3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 23 - 2 - 77	1/1												
要綱上の事業名称	復興地域づくり加速化事業													
細要素事業名	市街地整備事業の進展に伴う観光案内関連看板整備事業（平成27年度分）													
全体事業費	2,202（千円）													
<p>【事業概要】</p> <p>本市では、東日本大震災の影響により流失・損壊し、廃止を余儀なくされた公共・公益施設等が多数存在する。また、野蒜・宮戸地区を中心に、防災集団移転促進事業をはじめとする市街地整備事業の進展に伴い、内陸部へ移転し、震災以前とは所在地が異なる施設や新たに整備された道路等の交通網も存在する。したがって、観光ビジョン完成やJR仙石線全線再開による観光業の復興加速化が見込まれる平成27年度より、市街地整備事業の進捗に合わせ、市設置の観光案内関連看板を現状に即した内容へ変更し、再整備する必要がある。</p> <p>本事業は、市街地整備事業の進捗を考慮しつつ、工事の影響を受けない箇所から順次、観光案内関連看板を再整備するもの。なお、一部の看板は、地震や津波により著しく損傷しているため、表示内容の変更と併せ、看板本体の整備も同時に行う。</p> <p>（平成27年度整備予定）</p> <p>※平成27年度整備予定箇所は、全て震災以前に設置された看板である。</p> <p>①観光案内マップ 8箇所 ②案内指標板 1箇所 ③単柱式案内標識 3箇所 ※看板本体も撤去・整備 ④案内指導標 2箇所 ※看板本体（標識柱）も整備</p> <p>【基幹事業との関連性】</p> <p>本事業は、市街地整備事業の進展により、公共・公益施設の所在地等が変化したことで、表示内容の変更が必要となった観光案内関連看板を現状に即して整備するもの。これにより、観光業の振興や防災集団移転元地利活用の円滑化を図り、防災集団移転事業の実施効果を高める。</p> <p>【事業予算内訳】</p> <p>市街地整備事業の進展に伴う観光案内関連看板整備事業 2,202千円（①+②+③+④）</p> <p>（内訳）</p> <table border="0"> <tr> <td>①観光案内マップ整備一式</td> <td>296千円</td> <td>案内マップ作成・張替えほか</td> </tr> <tr> <td>②案内標識板整備一式</td> <td>281千円</td> <td>案内板シート作成・張替えほか</td> </tr> <tr> <td>③単柱式案内標識整備一式</td> <td>1,290千円</td> <td>案内標識作成・設置、既存標識撤去ほか</td> </tr> <tr> <td>④案内指導標整備一式</td> <td>335千円</td> <td>案内指導票作成・設置ほか</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">以上。</p>			①観光案内マップ整備一式	296千円	案内マップ作成・張替えほか	②案内標識板整備一式	281千円	案内板シート作成・張替えほか	③単柱式案内標識整備一式	1,290千円	案内標識作成・設置、既存標識撤去ほか	④案内指導標整備一式	335千円	案内指導票作成・設置ほか
①観光案内マップ整備一式	296千円	案内マップ作成・張替えほか												
②案内標識板整備一式	281千円	案内板シート作成・張替えほか												
③単柱式案内標識整備一式	1,290千円	案内標識作成・設置、既存標識撤去ほか												
④案内指導標整備一式	335千円	案内指導票作成・設置ほか												

※ この様式は、原則として、参考様式第30及び参考様式第33の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 「全体事業費」は、細要素事業（当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。）について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

参考様式第30及び参考様式第33の別添3
市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 23 - 2 - 78	1/1
要綱上の事業名称	復興地域づくり加速化事業	
細要素事業名	宮野森小学校 I C T 環境整備事業（調査・設計）	
全体事業費	5,400（千円）	
<p>【事業概要】 東日本大震災により被災した野蒜小学校は、隣接地区の宮戸小学校との統合により、平成28年4月に宮野森小学校として開校し、平成29年1月には防災集団移転団地内（野蒜北部丘陵地区）の新設校舎へ移転予定である。 新校舎建設にあたり、就学環境の整備のため、授業及び学校運営で必要となるネットワーク環境を新たに整備する必要がある。今回申請事業は、ネットワーク環境の効率的かつ経済的な整備方法等を検討・決定し、設計を行うもの。</p> <p>《工程》 ①平成27年度 9月～3月 調査・設計 ※今回申請 ②平成28年度 6月～12月 整備工事</p> <p>【基幹事業との関連性】 本事業は、震災により被災した野蒜小学校と宮戸小学校の統合校である宮野森小学校を防災集団移転団地内（野蒜北部丘陵地区）へ新設することに伴い、I C T 環境を整備するものである。防災集団移転地に移転する被災児童の就学環境を整えることにより、被災児童の学力低下を防ぎ、また、そのような就学環境整備により、防災集団移転促進事業を促進する。</p> <p>【事業費内訳】 宮野森小学校 I C T 環境整備事業 5,400千円</p> <p>（内訳） 宮野森小学校 I C T 環境整備事業（調査・設計）一式 5,400千円 状況調査分析、整備方法検討・決定、ネットワーク環境整備設計 ほか</p> <p style="text-align: right;">以上</p>		

- ※ この様式は、原則として、参考様式第30及び参考様式第33の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。
- ※ 「全体事業費」は、細要素事業（当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。）について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。
- ※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 17 - 3 - 6	1/2																																																				
要綱上の事業名称	(11) 飲用水供給施設・排水施設整備事業																																																					
細要素事業名	野蒜北部丘陵地区被災市街地復興土地区画整理事業下水道施設整備事業 (平成27年度分事業費)																																																					
全体事業費	22,768 (千円)																																																					
<p>【事業内容】 本事業は、東日本大震災により被災した「野蒜地区」の市街地及び集落の集団移転先を野蒜北部丘陵地区被災市街地復興土地区画整理事業にて造成工事、宅地整備するにあたり、基幹事業である下水道事業において補助対象外となる、住宅地等の雨水排水を処理するための下水道施設整備を行うもの。平成27年度は、土地区画整理事業の造成工事の進捗を受けて、雨水管整備を実施する。</p> <p>【基幹事業との関連性】 基幹事業である被災市街地復興土地区画整理事業は、野蒜北部丘陵地区の道路等の公共施設整備を行うものである。一方、本事業は、公共施設整備以外の野蒜北部丘陵地区の市街地整備を行うために必要な排水施設整備事業である。本事業と基幹事業は、一体的に進めることが不可欠であり、本事業の実施により野蒜北部丘陵地区全体の事業の促進に寄与する。</p> <p>【事業予算内訳】 野蒜北部丘陵地区被災市街地復興土地区画整理事業下水道施設整備 22,768千円</p> <p style="text-align: center;">(内訳) 別添設計書参照 (単位：千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">項目</th> <th style="width: 15%;">数量</th> <th style="width: 15%;">金額</th> <th style="width: 40%;">適要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 直接工事費</td> <td></td> <td style="text-align: right;">12,500</td> <td></td> </tr> <tr> <td>①土工事</td> <td style="text-align: center;">1式</td> <td style="text-align: right;">4,386</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②管基礎工</td> <td style="text-align: center;">423m</td> <td style="text-align: right;">990</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③管敷設工</td> <td style="text-align: center;">423m</td> <td style="text-align: right;">2,115</td> <td></td> </tr> <tr> <td>④水替え工</td> <td style="text-align: center;">1式</td> <td style="text-align: right;">880</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑤組立マンホール工</td> <td style="text-align: center;">16箇所</td> <td style="text-align: right;">4,129</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2. 共通仮設費</td> <td style="text-align: center;">1式</td> <td style="text-align: right;">1,179</td> <td style="text-align: right;">10.33%</td> </tr> <tr> <td>3. 現場管理費</td> <td style="text-align: center;">1式</td> <td style="text-align: right;">4,994</td> <td style="text-align: right;">36.50%</td> </tr> <tr> <td>4. 一般管理費</td> <td style="text-align: center;">1式</td> <td style="text-align: right;">2,409</td> <td style="text-align: right;">12.90%</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td></td> <td style="text-align: right;">21,082</td> <td></td> </tr> <tr> <td>消費税</td> <td></td> <td style="text-align: right;">1,686</td> <td style="text-align: right;">8%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td style="text-align: right;">22,768</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			項目	数量	金額	適要	1. 直接工事費		12,500		①土工事	1式	4,386		②管基礎工	423m	990		③管敷設工	423m	2,115		④水替え工	1式	880		⑤組立マンホール工	16箇所	4,129		2. 共通仮設費	1式	1,179	10.33%	3. 現場管理費	1式	4,994	36.50%	4. 一般管理費	1式	2,409	12.90%	小計		21,082		消費税		1,686	8%	合計		22,768	
項目	数量	金額	適要																																																			
1. 直接工事費		12,500																																																				
①土工事	1式	4,386																																																				
②管基礎工	423m	990																																																				
③管敷設工	423m	2,115																																																				
④水替え工	1式	880																																																				
⑤組立マンホール工	16箇所	4,129																																																				
2. 共通仮設費	1式	1,179	10.33%																																																			
3. 現場管理費	1式	4,994	36.50%																																																			
4. 一般管理費	1式	2,409	12.90%																																																			
小計		21,082																																																				
消費税		1,686	8%																																																			
合計		22,768																																																				

- ※ この様式は、原則として、参考様式第 2 9 及び参考様式第 3 2 の別添 2 に記載した細要素事業に作成してください。
- ※ 「全体事業費」は、細要素事業（当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。）について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。
- ※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

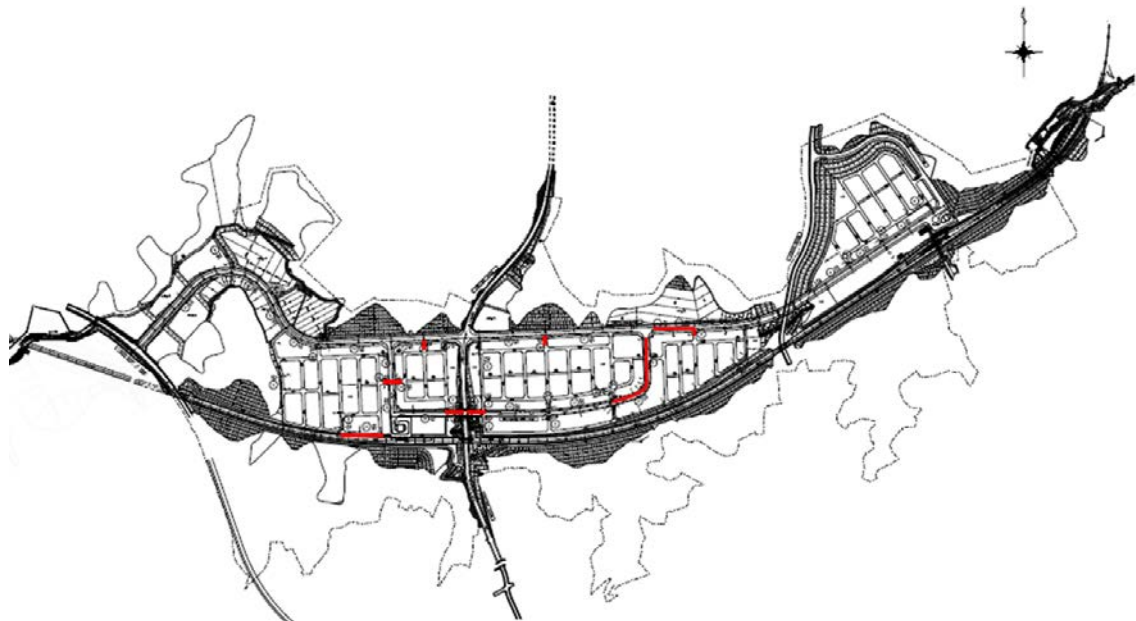
市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 17 - 3 - 6	2/2
要綱上の事業名称	(11) 飲用水供給施設・排水施設整備事業	
細要素事業名	野蒜北部丘陵地区被災市街地復興土地区画整理事業下水道施設整備事業 (平成27年度分事業費)	
全体事業費	22,768 (千円)	

【概要を示す図面】

位置図 (平成27年度施工箇所)

道路等の公共施設整備以外で、野蒜北部丘陵地区の市街地整備を行うために必要とする下水道施設整備を行う。(雨水管)



- ※ この様式は、原則として、参考様式第 2 9 及び参考様式第 3 2 の別添 2 に記載した細要素事業に作成してください。
- ※ 「全体事業費」は、細要素事業 (当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。) について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。
- ※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

参考様式第 2 9 及び参考様式第 3 2 の別添 3
市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 23 - 2 - 79	1/1
要綱上の 事業名称	復興地域づくり加速化事業	
細要素事業名	住宅再建未完了者の早期再建に向けた調査事業	
全体事業費	23,684 (千円)	
<p>【事業概要】 本市では、多くの住宅再建事業を実施しているが、防集団地や災害公営住宅の整備だけでは、移転先地への移転促進には繋がらず、再建意向は示しているが移転しない方や、再建意向未確定の方が、住宅再建未完了のまま、応急仮設住宅等から退去しないことが懸念されている。 そのため、本事業は、防災集団移転促進事業の進展に合わせ、仮設住宅入居者等に対し、アンケートや電話、面談による意向調査を改めて行い、住宅再建を促すもの。また、調査結果を既存の防災集団移転基幹システムに反映させるシステム改修や調査結果から判明する必要戸数の減少を踏まえた仮設住宅集約化の検討についても実施し、防災集団移転促進事業をはじめとした住宅再建事業の加速化を図る。</p> <p>(平成 2 7 年度予定) 6 月～8 月 意向調査、データ集約、条件整理 9 月～3 月 意向調査に基づく集約化計画策定</p> <p>【基幹事業との関連性】 本事業は、防災集団移転促進事業等を加速させるべく、仮設住宅入居等に入居する住宅再建未完了者に対し、住宅再建を促すものである。これにより、防災集団移転促進事業等の事業進捗を円滑かつ効率化し、事業の実施効果の促進を図る。</p> <p>【事業予算内訳】 住宅再建未完了者の早期再建に向けた調査事業 23,684千円 (①+②)</p> <p>(内訳) ①住宅再建未完了者の早期再建に向けた調査業務一式 21,740千円 意向調査(アンケート・電話・面談)、条件等整理、計画策定 ほか ②防災集団移転基幹システム改修業務一式 1,944千円 システム機能拡充、初期データ整備、調査結果取込 ほか</p> <p style="text-align: right;">以上</p>		

- ※ この様式は、原則として、参考様式第 2 9 及び参考様式第 3 2 の別添 2 に記載した細要素事業ごとに作成してください。
- ※ 「全体事業費」は、細要素事業(当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。)について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。
- ※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

参考様式第29及び参考様式第32の別添3
市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 23 - 2 - 80	1/1
要綱上の事業名称	復興地域づくり加速化事業	
細要素事業名	東松島市医療福祉サービス復興再生ビジョン策定事業	
全体事業費	35,591（千円）	
<p>【事業概要】</p> <p>東日本大震災から4年以上が経過した本市では、防災集団移転団地等の整備が進み、新生活を始めた市民がいる一方で、現在も2千人以上の市民が、応急仮設住宅等で生活している。このような現状において、新たな環境で生活することや、不便な環境下で長時間暮らすことによる心身の不調やストレス、不安を訴える市民が多く、高齢者や子育て世代を中心に、医療・福祉面でのケアの必要性が高まっている。</p> <p>また、防災集団移転により市街地が移動し、一部の地区に人口が集中したことで、発災以前の医療福祉サービスでは、量的不足が生じているほか、地域の診療所等が被災し、医療空白地帯となった地区（野蒜、宮戸）も存在している。</p> <p>本事業では、このようなニーズの高まりや課題に対応すべく、医療福祉サービス復興再生ビジョンを策定し、防災集団移転団地や応急仮設住宅で暮らす市民の生活環境整備に向けた医療福祉ケアの方針を明確にするもの。</p> <p>（平成27年度スケジュール予定）</p> <p>6月-7月 事前準備 8月-3月 協議会運営 9月-11月 アンケート調査等 12月-3月 基本構想（ビジョン）まとめ</p> <p>【基幹事業との関連性】</p> <p>本事業は、防災集団移転団地や応急仮設住宅に居住する市民等の心身のケア等を行うため、「東松島市医療福祉サービス復興再生ビジョン」を策定するもの。</p> <p>ビジョン策定により、医療福祉体制が整備されることで、防災集団移転団地や応急仮設住宅で暮らす市民の生活環境を整備し、防災集団移転促進事業の実施効果を加速化させる。</p> <p>【事業予算内訳】</p> <p>東松島市医療福祉サービス復興再生ビジョン策定事業 35,591千円</p> <p>（内訳）</p> <p>東松島市医療福祉サービス復興再生ビジョン策定業務一式 35,591千円 医療福祉サービス調査、住民ニーズ調査、ビジョン策定ほか</p> <p style="text-align: right;">以上</p>		

- ※ この様式は、原則として、参考様式第29及び参考様式第32の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。
- ※ 「全体事業費」は、細要素事業（当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。）について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。
- ※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

参考様式第 2 9 及び参考様式第 3 2 の別添 3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 15 - 1 - 1
要綱上の事業名称	(11) 飲用水供給施設・排水施設整備事業
細要素事業名	津波復興拠点（東矢本駅北地区）飲用水供給施設・排水施設整備事業
全体事業費	324,655（千円）
<p>【事業概要】 津波復興拠点整備事業は、新たな復興拠点及び災害時における防災拠点の整備を行うことを目的とし、それを達成するために土地造成や公共施設整備を行うものである。 本事業は、津波復興拠点整備事業で行う土地造成や公共施設整備に併せ、事業区画から既存管へ飲用水供給施設を整備するほか、排水施設（汚水排水）を整備するもの。</p> <p>【基幹事業との関連性】 本事業は、津波復興拠点整備事業の事業区域内に飲用水供給施設及び排水施設の整備を行うものである。基幹事業である津波復興拠点整備事業と一体的に整備を行うことで、基幹事業の実施効果を促進する。</p> <p>【事業予算内訳】 津波復興拠点（東矢本駅北地区）飲用水供給施設・排水施設整備事業 324,655千円</p> <p>（内訳） 津波復興拠点（東矢本駅北地区） 飲用水供給施設・排水施設整備一式 324,655千円（①-⑤の合計） ①給水工 28,018千円 ②汚水工 8,695千円 ③水路 32,135千円 ④調整池 135,264千円 ⑤排水施設 120,543千円</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	

この様式は、原則として、参考様式第 2 9 及び参考様式第 3 2 の別添 2 に記載した細要素事業ごとに作成してください。

- ※ 「全体事業費」は、細要素事業（当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。）について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。
- ※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 15 - 1 - 2
要綱上の 事業名称	(28) 防災拠点施設整備事業
細要素事業名	津波復興拠点（東矢本駅北地区）高質空間形成施設整備事業
全体事業費	210,156（千円）
<p>【事業概要】 津波復興拠点（東矢本駅北地区）は、発災時における緊急避難や応急復旧活動の拠点、さらには備蓄倉庫としての機能を持たせつつ、平常時においては、防災学習や交流施設として活用する等、複合的な用途による利用を想定している。 本事業は、発災時に防災拠点施設としての機能を向上させる高質空間形成施設を整備するもの。これにより、発災時の避難環境整備が可能となる。</p> <p>【基幹事業との関連性】 本事業は、発災時の緊急避難場所や応急復旧活動の拠点などの避難環境の構築を目的とし、津波復興拠点（東矢本駅北地区）の高質空間形成施設整備を行うもの。 基幹事業と一体的に整備を行うことで、津波復興拠点の防災拠点施設としての機能を増大させ、事業の実施効果を促進する。</p> <p>【事業予算内訳】 津波復興拠点（東矢本駅北地区）高質空間形成施設整備事業 210,156千円</p> <p>（内訳） 津波復興拠点（東矢本駅北地区）高質空間形成施設整備事業一式 210,156千円 防災トイレ、耐震性貯水槽、ソーラー照明、防犯灯、水飲み、トイレ、 街路灯、フェンス等</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	

この様式は、原則として、参考様式第 2 9 及び参考様式第 3 2 の別添 2 に記載した細要素事業ごとに作成してください。

- ※ 「全体事業費」は、細要素事業（当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。）について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。
- ※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

事業番号	★ D 17 - 3 - 7
要綱上の事業名称	(11) 飲用水供給施設・排水施設整備事業
細要素事業名	野蒜北部丘陵地区被災市街地復興土地区画整理事業上水道施設整備事業（平成27年度分事業費）
全体事業費	329,623（千円） 【平成26年度】 94,068千円 【平成27年度】 235,555千円 ※今回申請分

【事業内容】

本事業は、東日本大震災により被災した「野蒜地区」の市街地及び集落の集団移転先を野蒜北部丘陵地区被災市街地復興土地区画整理事業にて造成工事、宅地整備するにあたり、基幹事業と一体的に、住宅地等への飲用水を確保するための上水道施設整備を行うもの。平成27年度は、土地区画整理事業の造成工事の進捗を受けて、給水管を整備する。

【基幹事業との関連性】

基幹事業である被災市街地復興土地区画整理事業は、野蒜北部丘陵地区の道路等の公共施設整備を行うものである。一方、本事業は、公共施設整備以外の野蒜北部丘陵地区の市街地整備を行うために必要な上水道施設整備事業である。本事業と基幹事業は、一体的に進めることが不可欠であり、本事業の実施により野蒜北部丘陵地区全体の事業の促進に寄与する。

【事業予算内訳】

野蒜北部丘陵地区被災市街地復興土地区画整理事業
上水道施設整備 329,623千円（①+②）

（内訳）

- ①平成26年度分（★D17-3-4） 94,068千円
- ②平成27年度分（★D17-3-7） 235,555千円 ※今回申請分

（②詳細）

※別添設計書参照

（単位：千円）

項目	数量	金額	適要
1. 直接工事費	1式	136,317	
①土工事	1式	24,085	
②配水管路工	1式	112,232	
2. 諸経費	1式	81,790	直接工事費の60%
小計		218,107	
消費税相当額		17,448	消費税8%
合計		235,555	

以上

※ この様式は、原則として、参考様式第29及び参考様式第32の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 「全体事業費」は、細要素事業（当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。）について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

参考様式第29及び参考様式第32の別添3
市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 17 - 3 - 7	2/2
要綱上の事業名称	(11) 飲用水供給施設・排水施設整備事業	
細要素事業名	野蒜北部丘陵地区被災市街地復興土地区画整理事業上水道施設整備事業（平成27年度分事業費）	
全体事業費	329,623（千円） 【平成26年度】 94,068千円 【平成27年度】 235,555千円 ※今回申請分	

【概要を示す図面】

位置図（平成27年度施工箇所：給水管）



- ※ この様式は、原則として、参考様式第29及び参考様式第32の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。
- ※ 「全体事業費」は、細要素事業（当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。）について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。
- ※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

事業番号	★ D 17 - 3 - 8
要綱上の事業名称	復興地域づくり加速化事業
細要素事業名	野蒜北部丘陵地区被災市街地復興土地区画整理事業消火栓・防火水槽整備事業
全体事業費	20,590 (千円)

【事業内容】

本事業は、東日本大震災により被災した「野蒜地区」の市街地及び集落の集団移転先を野蒜北部丘陵地区被災市街地復興土地区画整理事業にて造成工事、宅地整備するにあたり、基幹事業と一体的に、防火対策として消防法に基づき必要となる消火栓・防火水槽の整備を行うもの。

【基幹事業との関連性】

基幹事業である被災市街地復興土地区画整理事業は、野蒜北部丘陵地区の道路等の公共施設整備を行うものである。一方、本事業は、公共施設整備以外の野蒜北部丘陵地区の市街地整備を行うために必要な消火栓・防火水槽整備事業である。本事業と基幹事業は、一体的に進めることが不可欠であり、本事業の実施により野蒜北部丘陵地区全体の事業の促進に寄与する。

【事業予算内訳】

野蒜北部丘陵地区被災市街地復興土地区画整理事業
消火栓・防火水槽整備事業 20,590千円

(内訳)

※別添設計書参照

(単位：千円)

項目	数量	金額	適要
1. 直接工事費	1式	11,916	
①消火栓工	9基	3,704	
②防火水槽設置工	2基	8,212	40t (3m×2m×7m)
2. 諸経費	1式	7,149	直接工事費の60%
小計		19,065	
消費税相当額		1,525	消費税8%
合計		20,590	

以上

※ この様式は、原則として、参考様式第 2 9 及び参考様式第 3 2 の別添 2 に記載した細要素事業ごとに作成してください。

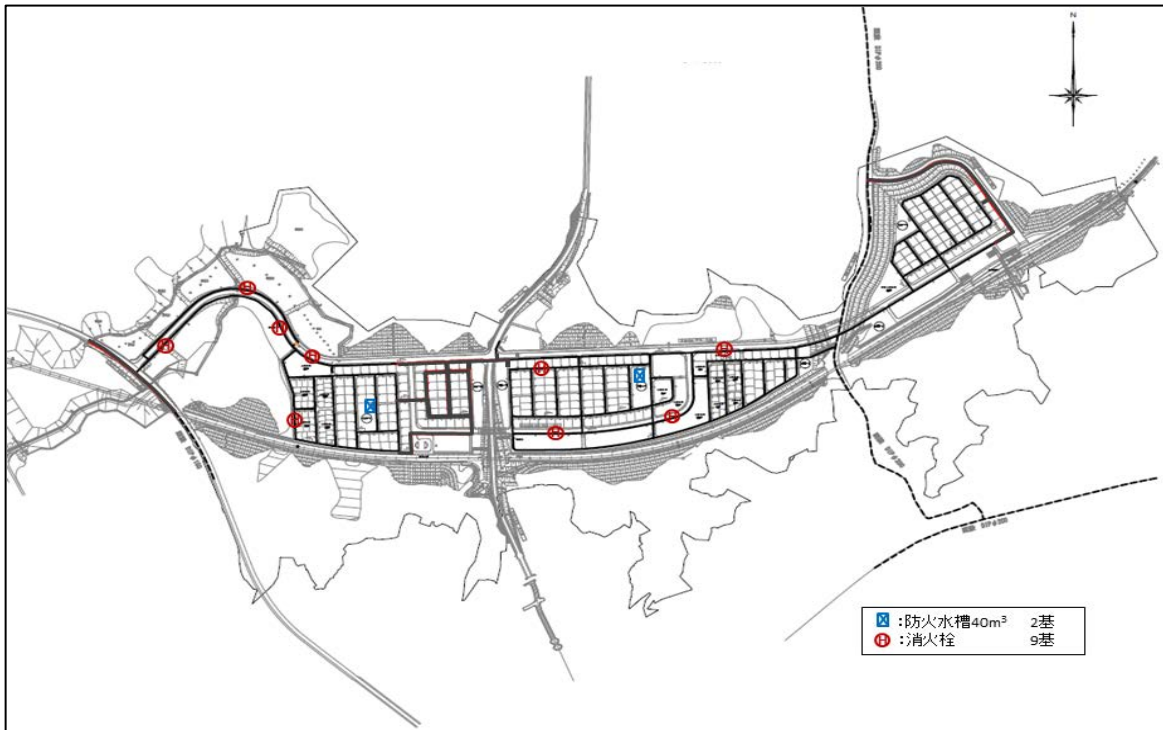
※ 「全体事業費」は、細要素事業（当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。）について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

事業番号	★ D 17 - 3 - 8
要綱上の事業名称	復興地域づくり加速化事業
細要素事業名	野蒜北部丘陵地区被災市街地復興土地区画整理事業消火栓・防火水槽整備事業
全体事業費	20,590（千円）

【概要を示す図面】

位置図（H27年度施工箇所：防火水槽、消火栓）



- ※ この様式は、原則として、参考様式第2-9及び参考様式第3-2の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。
- ※ 「全体事業費」は、細要素事業（当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。）について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。
- ※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

事業番号	★ D 17 - 6 - 5	1/3
要綱上の事業名称	(25)市街地復興関連小規模施設整備事業	
細要素事業名	被災市街地復興土地区画整理事業（大曲浜地区）関連・市道上浜97号線整備事業（測量・設計）	
全体事業費	65,300(千円)	【平成27年度】 9,300千円（今回申請分） 【平成28年度】 56,000千円 ※概算
<p>【事業概要】 市道上浜97号線は、甚大な津波被害を受け、被災市街地復興土地区画整理事業により、新たに産業団地として土地利用の転換を図る「大曲浜地区」と産業拠点である石巻港「西浜団地」及び漁業施設団地を連絡する既存道路である。 本路線の現況幅員は約4mと狭く、通行車両のすれ違いが困難であり、歩行者の安全確保も不十分な状況である。また、大曲浜地区から内陸部の防災拠点（大曲小学校、大曲市民センター等）への移動経路となっているが、幅員が狭いことで、震災時には混雑し、避難に支障をきたした。 今回申請事業は、市道上浜97号線を整備するにあたり、測量及び設計を行う。本路線の整備により、西浜団地内の企業や漁業施設団地と連携する大曲浜地区進出企業等の利便性を向上させ、被災市街地復興土地区画整理事業の実施効果を促進する。</p> <p>【基幹事業との関連性】 本事業は、基幹事業（被災市街地復興土地区画整理事業）施行地区に隣接する市道を整備するもの。基幹事業と併せて施行することにより、土地区画整理事業地内へ進出する企業の利便性を向上し、区画整理事業の実施効果を促進を図る。</p> <p>【事業予算内訳】 被災市街地復興土地区画整理事業（大曲浜地区）関連 市道上浜97号線整備事業（測量・設計） 65,300千円（①+②） （路線概要） 延長：L=325m 幅員：W=9m（車道2.75m×2、路側0.5m×2、歩道2.5m） 区分：3種4級 （内訳） ①平成27年度分 ※今回申請 9,300千円 ・測量業務 1,482千円 ・道路詳細設計 3,586千円 ・用地測量 4,232千円 ②平成28年度分 56,000千円 ※概算 ・用地買収 7,000千円 ・道路築造工事 49,000千円</p>		
以上		

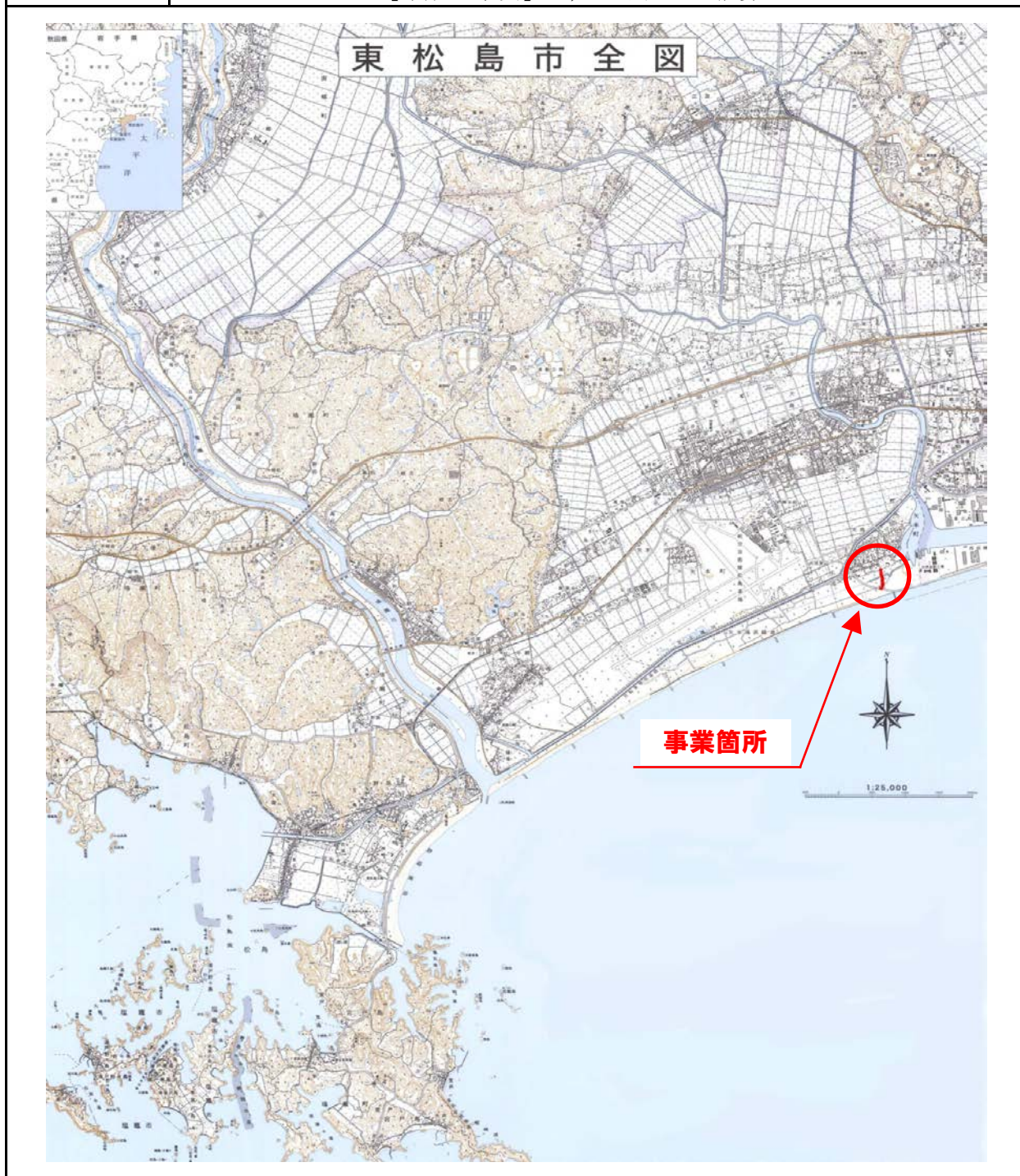
※ この様式は、原則として、参考様式第 2 9 及び参考様式第 3 2 の別添 2 に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 「全体事業費」は、細要素事業（当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。）について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

参考様式第 2 9 及び参考様式第 3 2 の別添 3
市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

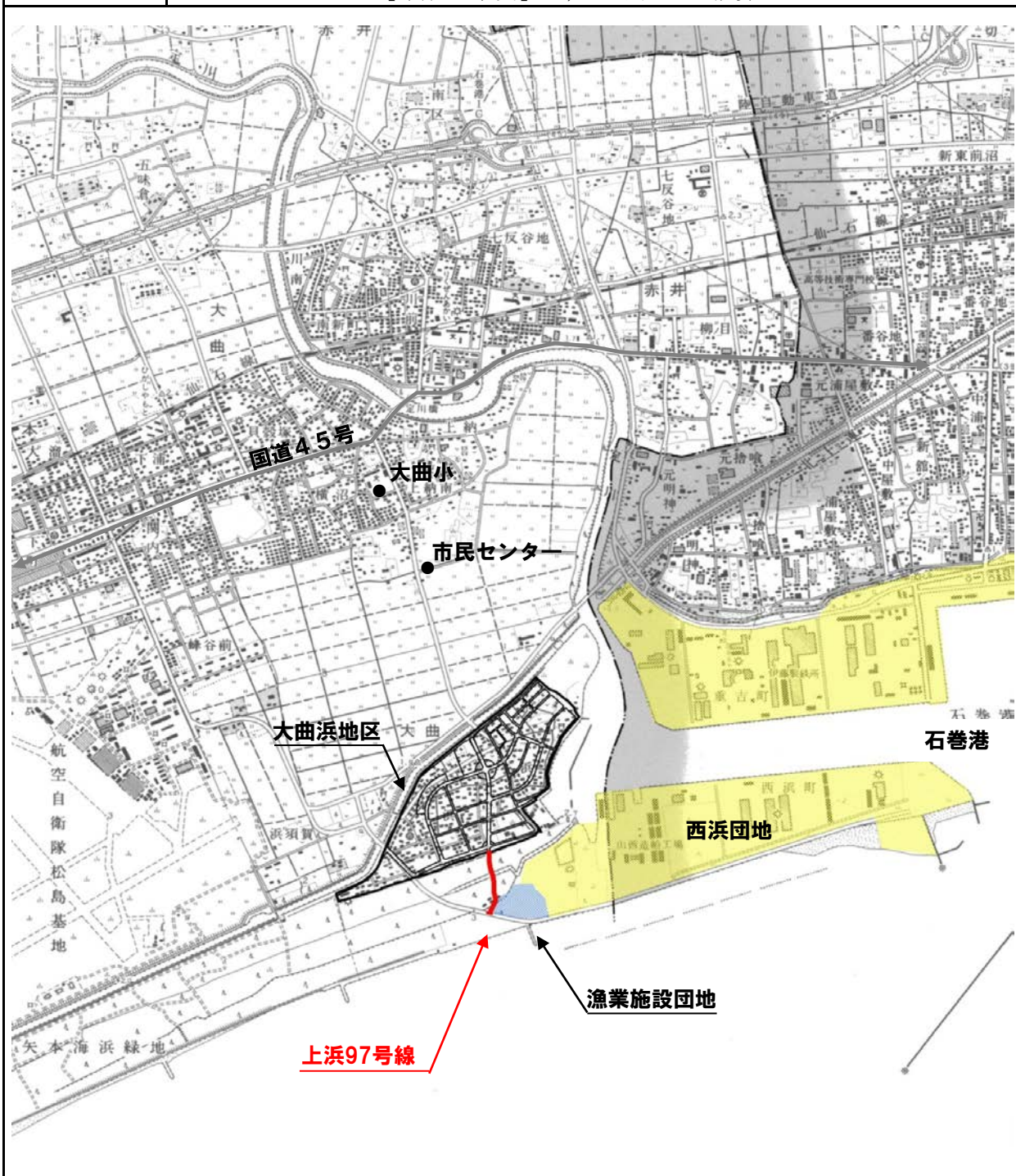
事業番号	★ D 17 - 6 - 5	2/3
要綱上の事業名称	(25)市街地復興関連小規模施設整備事業	
細要素事業名	被災市街地復興土地区画整理事業（大曲浜地区）関連・市道上浜97号線整備事業（測量・設計）	
全体事業費	65,300(千円)	【平成27年度】 9,300千円（今回申請分） 【平成28年度】 56,000千円 ※概算



- ※ この様式は、原則として、参考様式第 2 9 及び参考様式第 3 2 の別添 2 に記載した細要素事業ごとに作成してください。
- ※ 「全体事業費」は、細要素事業（当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。）について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。
- ※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

参考様式第29及び参考様式第32の別添3
市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 17 - 6 - 5	3/3
要綱上の事業名称	(25)市街地復興関連小規模施設整備事業	
細要素事業名	被災市街地復興土地区画整理事業（大曲浜地区）関連・市道上浜97号線整備事業（測量・設計）	
全体事業費	65,300(千円)	【平成27年度】 9,300千円（今回申請分） 【平成28年度】 56,000千円 ※概算



- ※ この様式は、原則として、参考様式第29及び参考様式第32の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。
- ※ 「全体事業費」は、細要素事業（当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。）について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。
- ※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

参考様式第 2 9 及び参考様式第 3 2 の別添 3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 15 - 2 - 5
要綱上の 事業名称	(4) 被災地復興のための土地利用計画策定促進事業
細要素事業名	津波復興拠点（野蒜北部丘陵地区）測量調査設計事業
全体事業費	21,600（千円）
<p>【事業概要】 本事業は、野蒜地域に不足している防災機能や観光交流・地域交流機能を一体的に発揮する一団地の津波復興拠点の整備を進めるに当たり、用地測量、出来形測量、土地の区画形質の変更に伴う分合筆手続き業務を行うもの。</p> <p>【基幹事業との関連性】 本事業により、土地の区画形質の変更に伴い必要となる各種測量及び手続きを迅速に実施することにより、基幹事業である津波復興拠点整備事業の進捗を促進する。</p> <p>【事業予算内訳】 津波復興拠点（野蒜北部丘陵地区）測量調査設計事業 21,600千円</p> <p>（内訳） 津波復興拠点（野蒜北部丘陵地区）測量調査設計業務一式 21,600千円 用地測量、出来形測量、分合筆手続き</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	

※ この様式は、原則として、参考様式第 2 9 及び参考様式第 3 2 の別添 2 に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 「全体事業費」は、細要素事業（当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。）について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 15 - 2 - 6
要綱上の事業名称	(11) 飲用水供給施設・排水施設整備事業
細要素事業名	津波復興拠点（野蒜北部丘陵地区）飲用水供給施設・排水施設整備事業
全体事業費	143,724（千円）
<p>【事業概要】 本事業は、野蒜地域に不足している防災機能や観光交流・地域交流機能を一体的に発揮する一団地の津波復興拠点の整備を進めるに当たり、供給施設等を整備するもの。 また、市街地としての安全性が確保された拠点施設とするため、雨水排水設備及び雨水の流末部における水路施設を一体として整備する。</p> <p>【基幹事業との関連性】 本事業は、津波復興拠点整備事業の事業区域内に飲用水供給施設・排水施設の整備を行うものである。基幹事業である津波復興拠点整備事業と一体的に整備を行うことで、基幹事業の実施効果を促進する。</p> <p>【事業予算内訳】 津波復興拠点（野蒜北部丘陵地区）飲用水供給施設・排水施設整備事業 143,724千円（内訳） 津波復興拠点（野蒜北部丘陵地区）飲用水供給施設・排水施設整備一式 143,724千円 ・給水施設整備 ①給水・排水管渠工 ・下水施設整備 ②污水管渠工、③マンホール ・雨水排水整備 ④側溝等 ・水路施設整備 ⑤横断管渠工</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	

※ この様式は、原則として、参考様式第 2 9 及び参考様式第 3 2 の別添 2 に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 「全体事業費」は、細要素事業（当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。）について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 15 - 2 - 7
要綱上の 事業名称	(22) 避難誘導施設整備事業
細要素事業名	津波復興拠点（野蒜北部丘陵地区）南側交通広場等関連施設整備事業
全体事業費	40,078（千円）
<p>【事業概要】 津波復興拠点整備事業（野蒜北部丘陵地区）の南側エリアは、奥松島観光の玄関口として観光客等が集まる場所であり、発災時には周辺住民や観光客等に対する最短で安全な避難経路の確保と避難目標地点としての役割を有している。 本事業は、発災時の避難において、重要な役割を果たす階段及びスロープを、安全に避難誘導するための施設として整備するもの。</p> <p>【基幹事業との関連性】 基幹事業である津波復興拠点整備事業は、野蒜北部丘陵地区の道路・広場等の公共施設整備を行うものである。また、本事業は、公共施設整備以外の市街地整備として、安全な避難誘導に必要な階段、スロープの整備を行うものである。そのため、本事業は、基幹事業と一体的に進めることが不可欠であり、本事業の実施により野蒜北部丘陵地区の避難誘導性能を高め、津波復興拠点整備事業の実施効果を促進する。</p> <p>【事業予算内訳】 津波復興拠点（野蒜北部丘陵地区）南側交通広場等関連施設整備事業 40,078千円 （内訳） 津波復興拠点（野蒜北部丘陵地区）南側交通広場等関連施設整備一式 40,078千円 ①階段工、②スロープ工</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	

※ この様式は、原則として、参考様式第 2 9 及び参考様式第 3 2 の別添 2 に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 「全体事業費」は、細要素事業（当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。）について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

参考様式第 2 9 及び参考様式第 3 2 の別添 3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 15 - 2 - 8
要綱上の事業名称	(28) 防災拠点施設整備事業
細要素事業名	津波復興拠点（野蒜北部丘陵地区）高質空間形成施設整備事業
全体事業費	146,357（千円）
<p>【事業概要】 津波復興拠点（野蒜北部丘陵地区）整備事業は、災害時における避難者支援及び地域の復旧活動支援機能、または平常時での地域交流や観光交流機能を併せ持つ複合的な拠点施設整備を行う計画となっている。 本事業は、発災時における安全な避難誘導・避難者支援・復旧活動支援機能を効果的に行うための照明設備や転落防止柵等の安全施設、平常時利用における景観等に配慮した植栽などの、高質空間形成施設を整備するもの。</p> <p>【基幹事業との関連性】 基幹事業である津波復興拠点整備事業は、道路・広場等の公共施設整備を行うものであり、一方、本事業は、公共施設整備以外の市街地整備として、安全な避難誘導や避難者支援・復旧活動支援機能及び賑わいを牽引する野蒜地域の復興拠点機能に必要な照明設備、安全施設、植栽整備等を行う事業である。そのため、本事業は基幹事業と一体的に進めることが不可欠であり、本事業の実施により野蒜北部丘陵地区の発災時、復旧時・平常時等の各種機能を高め、津波復興拠点整備事業を促進するものである。</p> <p>【事業予算内訳】 津波復興拠点（野蒜北部丘陵地区）高質空間形成施設整備事業 146,357千円 （内訳） 津波復興拠点（野蒜北部丘陵地区）高質空間形成施設整備一式 146,357千円 ①照明設備工、②安全施設工、③植栽工、④便所施設工</p>	

以上


※ この様式は、原則として、参考様式第 2 9 及び参考様式第 3 2 の別添 2 に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 「全体事業費」は、細要素事業（当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。）について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

参考様式第 2 9 及び参考様式第 3 2 の別添 3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 15 - 2 - 9
要綱上の事業名称	(30) 防災備蓄倉庫整備事業
細要素事業名	津波復興拠点（野蒜北部丘陵地区）防災備蓄倉庫整備事業
全体事業費	13,615（千円）
<p>【事業概要】 津波復興拠点（野蒜北部丘陵地区）整備事業の北側エリアは、災害時に、防災拠点機能を有する施設を整備予定である。地区住民や観光客等の来訪者を収容し、食糧・生活必需品等の提供、負傷者の搬送受け入れ等を行う地域避難所として指定予定の地域交流センター（駐車場含む）や、支援物資の提供や炊き出し等の場として利用されるイベント広場等の施設を配置する計画となっている。 本事業は、発災時・復旧時に、避難者支援及び復旧活動支援等の活動を行う上で重要な役割を担う地域交流センターに、防災備蓄倉庫を整備するもの。</p> <p>【基幹事業との関連性】 基幹事業である津波復興拠点整備事業は、地域交流センターや広場等の公共施設整備を行うものである。一方、本事業は、公共施設整備以外の設備工事として、避難者支援及び復旧活動支援で必要となる防災備蓄倉庫を整備する事業である。 したがって、本事業は基幹事業と一体的に進めることが不可欠であり、本事業の実施により野蒜北部丘陵地区の発災時・復旧時の防災機能等を高め、津波復興拠点整備事業の実施効果を促進する。</p> <p>【事業予算内訳】 津波復興拠点（野蒜北部丘陵地区）防災備蓄倉庫整備事業 13,615千円</p> <p>（内訳） 津波復興拠点（野蒜北部丘陵地区）防災備蓄倉庫整備一式 13,615千円 ①建築工事 ②電気設備工事 ③機械設備工事 ④仮設工事</p> <p>【位置図】</p>  <p style="text-align: right;">以上</p>	

この様式は、原則として、参考様式第 2 9 及び参考様式第 3 2 の別添 2 に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 「全体事業費」は、細要素事業（当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。）について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

参考様式第 2 9 及び参考様式第 3 2 の別添 3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 15 - 2 - 10
要綱上の 事業名称	復興地域づくり加速化事業
細要素事業名	津波復興拠点（野蒜北部丘陵地区）消防水利施設整備事業
全体事業費	9,804（千円）
<p>【事業概要】 本事業は、野蒜地域に不足している防災機能や観光交流・地域交流機能を一体的に発揮する一団地の津波復興拠点の整備を進めるに当たり、防火対策として消防法に基づき必要となる消防水利施設（防火水槽）を整備するもの。</p> <p>【基幹事業との関連性】 本事業は、津波復興拠点整備事業の事業区域内に消防水利施設の整備を行うものである。基幹事業である津波復興拠点整備事業と一体的に整備を行うことで、基幹事業の実施効果を促進する。</p> <p>【事業予算内訳】 津波復興拠点（野蒜北部丘陵地区）消防水利施設整備事業 9,804千円 （内訳） 消防水利施設（防火水槽）整備工事一式 9,804千円 ※整備基数：1基</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	

※ この様式は、原則として、参考様式第 2 9 及び参考様式第 3 2 の別添 2 に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 「全体事業費」は、細要素事業（当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。）について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

参考様式第29及び参考様式第32の別添3
市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 17 - 6 - 6
要綱上の事業名称	(9) 市街地整備事業予定地区の盛土材確保事業
細要素事業名	東松島市盛土材確保事業
全体事業費	617,272 (千円) 【調査・設計】 47,053(千円) ※今回申請 【土取り場整備工事】 570,219 (千円)

【事業概要】

大曲浜地区の被災市街地復興土地区画整理事業をはじめとした復旧・復興事業において、相当量の盛土材の需要が見込まれている。しかし、盛土材の供給量（民間）不足や、単価高騰による事業費の増大が今後大きな課題となってくる。これらを踏まえ、本事業は、市有地等からの土砂採取により、盛土材の供給不足の解消や盛土材の調達費削減を可能とすべく、盛土材を調達する土取り場を整備するもの。今回申請では、土取り場整備に向けた採取場所の可能性調査を行う。

- 市内にて今後必要となる盛土材量 385万³m³
- 市内既存土取り場からの盛土材残存想定量 268万³m³ (117万³m³の不足が予期される)
- 今回調査予定の採取場からの採取可能な想定盛土材量 130万³m³
 - ①矢本区域：想定採取土量100万³m³、採取場予定面積A=15.0ha (市単独費による用地取得)
 - ②鳴瀬区域：想定採取土量 30万³m³、採取場予定面積A= 7.8ha (既市有地)

【基幹事業との関連性】

大曲浜地区被災市街地復興土地区画整理事業等、本市で進められている復旧・復興事業において、より安価な盛土材の確保は喫緊の課題である。本事業により盛土材確保を図ることで、労務単価や材料費の高騰による事業費増大に対する削減効果が期待できるほか、被災市街地復興土地区画整理事業等の事業進捗を円滑にし、事業の実施効果を促進する。

【今回実施事業によるコスト縮減額】

採取場所	想定採取土量(m ³)	購入土単価(円/ m ³)	購入土費用(千円)	搬入土単価(円/m ³)	搬入土費用(千円)	コスト縮減額(千円)
1. 矢本区域	1,000,000	5,184	5,184,000	3,520	3,520,000	1,664,000
2. 鳴瀬区域	300,000	5,184	1,555,200	3,520	1,056,000	499,200
合計	1,300,000	—	6,739,200	—	4,576,000	2,163,200

※想定採取土量は、予定採取場所の面積等に基づいて試算。

※購入土単価は、15年4月宮城県単価(石巻地域)を参照。搬入土単価は、運搬距離8.5kmにて試算。

【事業予算内訳】

東松島市盛土材確保事業 617,272千円 (①+②)

(内訳)

- ①調査設計 (可能性調査) 47,053千円 ※今回申請
 - ②樹木伐採 (246,240千円)、土取り場 (道路等) 整備 (323,979千円) 計570,219千円 ※概算
- (内訳) 別添設計書参照 (単位：千円)

項目	委託費内訳	摘要
調査業務	7,962	ボーリング等
測量業務	8,151	
設計業務	27,455	土取計画等
業務価格 計	43,568	
消費税相当額	3,485	(8%)
委託費計	47,053	

以上

※ この様式は、原則として、参考様式第29及び参考様式第32の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 「全体事業費」は、細要素事業（当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。）について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

参考様式第 2 9 及び参考様式第 3 2 の別添 3
市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 17 - 6 - 6
要綱上の事業名称	(9) 市街地整備事業予定地区の盛土材確保事業
細要素事業名	東松島市盛土材確保事業
全体事業費	617,272 (千円) 【調査・設計】 47,053(千円) ※今回申請 【土取り場整備工事】 570,219 (千円)

【事業位置図】



- ※ この様式は、原則として、参考様式第 2 9 及び参考様式第 3 2 の別添 2 に記載した細要素事業ごとに作成してください。
- ※ 「全体事業費」は、細要素事業（当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。）について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。
- ※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 15 - 2 - 11	1/1
要綱上の事業名称	復興地域づくり加速化事業	
細要素事業名	観光交流物産センター整備事業（建築工事・施工監理）	
全体事業費	131,281（千円）	
<p>【事業概要】 野蒜北部丘陵地区では、有事の際も都市機能を維持するための施設を集約し、津波復興拠点を整備する。これに併せ、本事業は、東日本大震災により被災した奥松島観光情報センターを「観光交流物産センター」として同地区に移転新築するもの。なお、今回申請事業では、観光交流物産センターの建築工事及び施工管理を行う。 同センターは、奥松島観光の玄関口であるJR仙石線・野蒜駅に隣接することから、平時は観光物産の拠点施設としての機能を有する。一方、有事の際は、津波復興拠点と一体的に機能発揮し、避難者の収容や支援物資の保存等を行うもの。</p> <p>【基幹事業との関連性】 基幹事業である津波復興拠点整備事業では、有事の際も都市機能を維持する施設を野蒜北部丘陵地区に集約して整備する。同地区に観光交流物産センターを整備することで、有基幹事業と一体的に避難者を収容するとともに支援物資の保存等を行うもの。これにより、津波復興拠点の機能強化を図り、津波復興拠点整備事業の実施効果を促進する。</p> <p>【事業予算内訳】 観光交流物産センター整備事業（建築工事・施工監理）131,281千円（①+②） （内訳） 平成27年度分 ①建設工事 127,781千円 ②施工管理 3,500千円</p> <p>※当該観光交流物産センター整備事業における基本設計や実施設計については、以下事業にて実施。 ○★D15-2-1（平成26年度分） ・基本設計 申請額：6,264千円 ・実施設計 申請額：6,934千円 合計 申請額：13,198千円</p> <p style="text-align: right;">以上</p>		

※ この様式は、原則として、参考様式第 2 9 及び参考様式第 3 2 の別添 2 に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 「全体事業費」は、細要素事業（当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。）について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

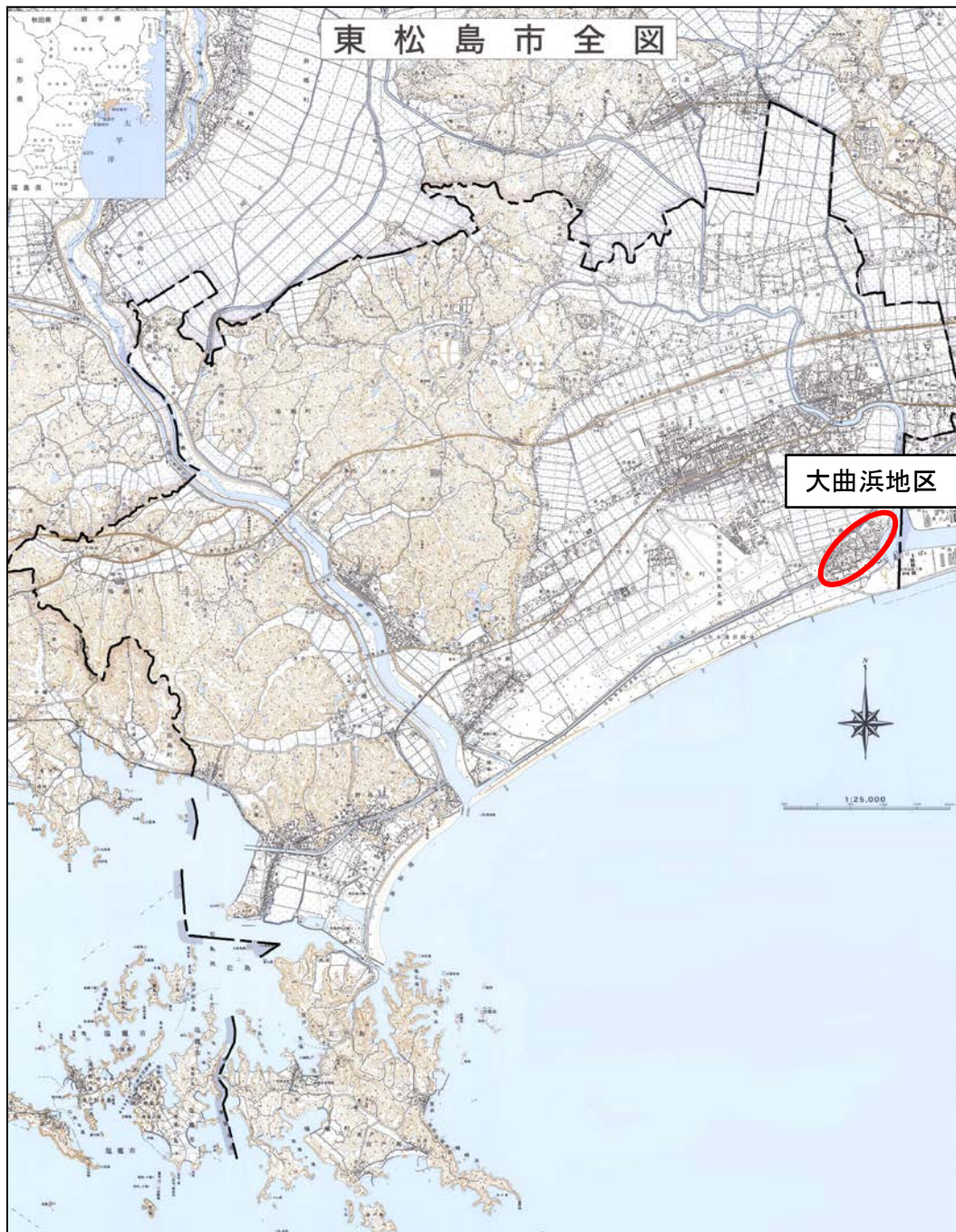
事業番号	★ D 17 - 6 - 7	1/2
要綱上の事業名称	(11) 飲用水供給施設・排水施設整備事業	
細要素事業名	被災市街地復興土地区画整理事業（大曲浜地区）関連・上水道整備事業	
全体事業費	353,386(千円) 【平成27年度】177,980千円 ※今回申請 【平成28年度以降】175,406千円 ※概算	
<p>【事業概要】 東日本大震災により甚大な被害を受けた大曲浜地区は、従前の住居系用地から産業系用地へ土地利用の転換を図り、被災市街地復興土地区画整理事業にて、土地の造成、画地の再編等を行っている。本事業は、土地区画整理事業の進捗に伴い、良好な産業用地や公共施設用地を創出するため、基幹事業と一体的に、給水管等の上水道施設を整備するもの。</p> <p>(工事概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水道管敷設 (φ150) L=3,943m (うち平成27年度分 L=2,158m) ・水道管敷設 (φ100) L=4,955m (うち平成27年度分 L=2,216m) <p>【基幹事業との関連性】 本事業は、基幹事業（被災市街地復興土地区画整理事業）施行地区内において上水道施設を整備するものである。本事業と基幹事業は、一体的に進めることが不可欠であり、本事業の実施により大曲浜地区全体の事業の促進に寄与する。</p> <p>【事業予算内訳】 被災市街地復興土地区画整理事業（大曲浜地区）関連・ 上水道整備事業 353,386千円 (①+②)</p> <p>(内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①平成27年度分 ※今回申請 上水道整備工事一式 177,980千円 ②平成28年度以降 ※概算 上水道整備工事一式 175,406千円 <p style="text-align: right;">以上</p>		

- ※ この様式は、原則として、参考様式第 2 9 及び参考様式第 3 2 の別添 2 に記載した細要素事業ごとに作成してください。
- ※ 「全体事業費」は、細要素事業（当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。）について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。
- ※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

参考様式第 2 9 及び参考様式第 3 2 の別添 3
市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 17 - 6 - 7
要綱上の事業名称	(11) 飲用水供給施設・排水施設整備事業
細要素事業名	被災市街地復興土地地区画整理事業（大曲浜地区）関連・上水道整備事業
全体事業費	353,386(千円) 【平成27年度】177,980千円 ※今回申請 【平成28年度以降】175,406千円 ※概算

【位置図】



- ※ この様式は、原則として、参考様式第 2 9 及び参考様式第 3 2 の別添 2 に記載した細要素事業ごとに作成してください。
- ※ 「全体事業費」は、細要素事業（当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。）について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。
- ※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

事業番号	★ D 17 - 6 - 8	1/2
要綱上の事業名称	復興地域づくり加速化事業	
細要素事業名	被災市街地復興土地区画整理事業（大曲浜地区）関連・消防水利施設整備事業	
全体事業費	30,650(千円)	【平成27年度】14,463千円 ※今回申請 【平成28年度以降】16,187千円 ※概算
<p>【事業概要】 東日本大震災により甚大な被害を受けた大曲浜地区は、従前の住居系用地から産業系用地へ土地利用の転換を図り、被災市街地復興土地区画整理事業にて、土地の造成、画地の再編等を行っている。本事業は、土地区画整理事業の進捗に伴い、良好な産業用地や公共施設用地を創出するため、基幹事業と一体的に、防火対策として消防法に基づき必要となる消防水利施設を整備するもの。</p> <p>(工事概要) ①防火水槽 N=2箇所 (うち平成27年度分 N=1箇所) ②消火栓 N=11箇所 (うち平成27年度分 N=4箇所)</p> <p>【基幹事業との関連性】 本事業は、基幹事業（被災市街地復興土地区画整理事業）施行地区内において消防水利施設を整備するものである。本事業と基幹事業は、一体的に進めることが不可欠であり、本事業の実施により大曲浜地区全体の事業の促進に寄与する。</p> <p>【事業予算内訳】 被災市街地復興土地区画整理事業（大曲浜地区）関連 消防水利施設整備事業 30,650千円（①+②）</p> <p>(内訳) ①平成27年度分 ※今回申請 消防水利施設整備工事一式 14,463千円 ②平成28年度以降 ※概算 消防水利施設整備事業一式 16,187千円</p> <p style="text-align: right;">以上</p>		

※ この様式は、原則として、参考様式第 2 9 及び参考様式第 3 2 の別添 2 に記載した細要素事業ごとに作成してください。

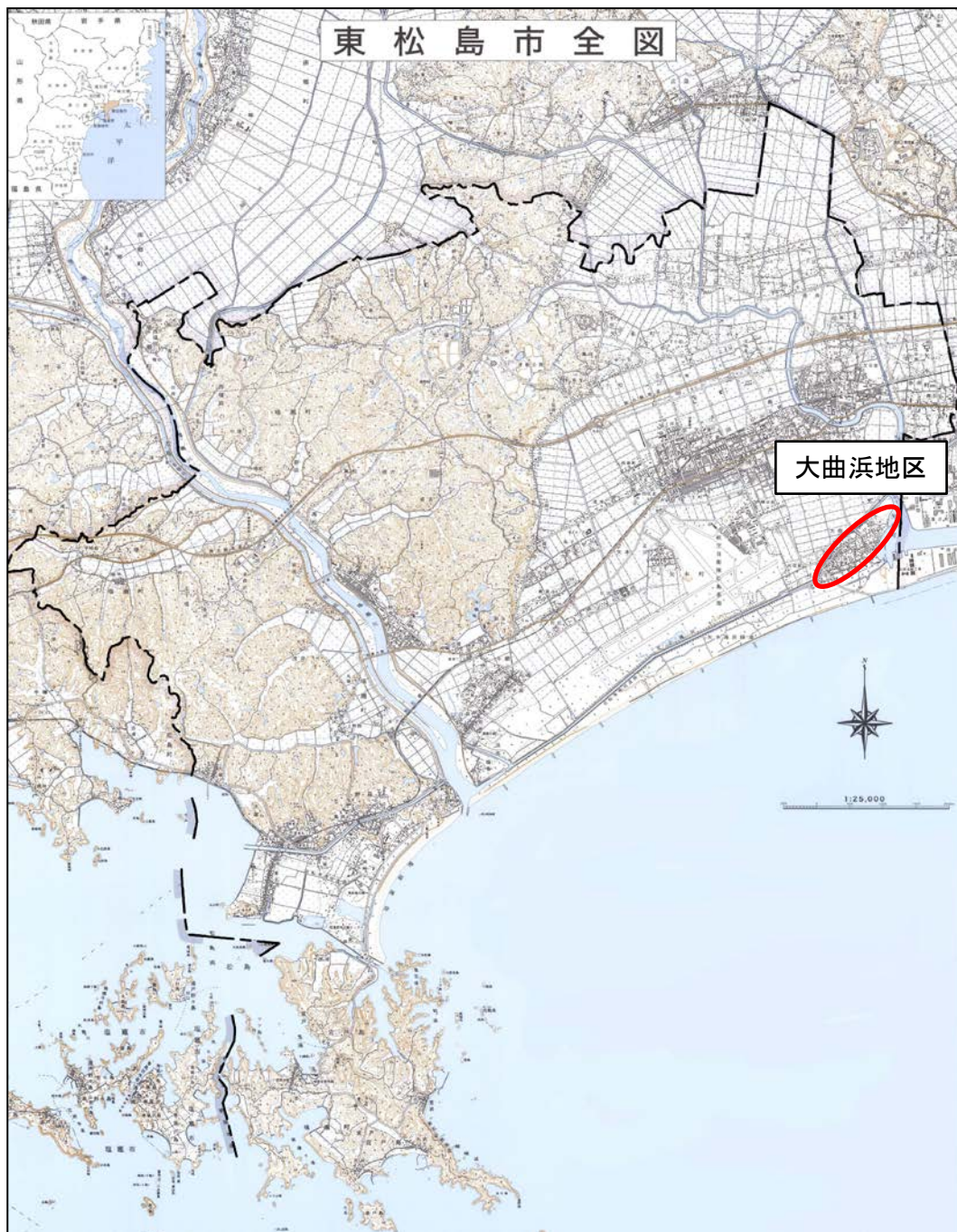
※ 「全体事業費」は、細要素事業（当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。）について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

参考様式第 2 9 及び参考様式第 3 2 の別添 3
市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 17 - 6 - 8
要綱上の事業名称	復興地域づくり加速化事業
細要素事業名	被災市街地復興土地区画整理事業（大曲浜地区）関連・消防水利施設整備事業
全体事業費	30,650(千円) 【平成27年度】14,463千円 ※今回申請 【平成28年度以降】16,187千円 ※概算

【工事概要図】



- ※ この様式は、原則として、参考様式第 2 9 及び参考様式第 3 2 の別添 2 に記載した細要素事業ごとに作成してください。
- ※ 「全体事業費」は、細要素事業（当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。）について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。
- ※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

事業番号	★ D 23 - 2 - 82	
要綱上の事業名称	復興地域づくり加速化事業	
細要素事業名	震災遺構保存整備事業	
全体事業費	62,285 (千円)	実施設計費 3,313千円 ※今回申請 工事費 58,972千円 ※概算

【事業概要】
本市は、「東松島市震災遺構保存活用方針」に基づき、東日本大震災により甚大な被害を受けたJR旧野蒜駅プラットフォームを、震災の経験と教訓を後世に引き継ぎ、防災・減災意識の醸成を図るための象徴的な施設として、市内唯一の「震災遺構」に指定し保存整備するもの。

(当該施設の遺構保存の考え方について)

(1)復興まちづくりとの関連性

- ・「東松島市復興まちづくり計画」において、東日本大震災の記憶を次世代へ継承すべく防災学習の場を設けることを定めており、その取組みとして当該施設を震災遺構として保存整備するもの。また、本年5月のJR仙石線新野蒜駅の開通や、野蒜北部丘陵団地の造成に係るベルトコンベア撤去など、野蒜地域における復興事業の見通しを踏まえ、本事業を行うもの。

(2)維持管理を含めた適切な費用負担のあり方

- ・遺構の維持管理費は、約13.8万円(年間)と想定しており、本市の単独費にて負担する。

(3)住民・関係者間の合意

- ・当該施設の遺構保存に関するパブリックコメント(本年6～7月実施)において、市民から賛同いただいたもの。本市が自己の責任において、維持管理運営していく。

※当該遺構施設は、宮城県震災遺構有識者会議において、破壊力の痕跡や教訓、発信力の観点から、震災遺構として保存する意義が認められている。

※当該遺構施設の現所有者であるJR東日本と本市との間において、既に双方有償譲渡について合意済み。また、売買契約に係る手続き完了までの間については、無償貸借できる旨、双方合意済み。

(平成27年度スケジュール予定)
H27年9～11月 実施設計業務 H27年12～H28年3月 整備工事

(当該施設規模)

- ・敷地面積 1,575㎡
- ・整備内容 駅プラットフォームの補強・修繕工事、フェンス設置等(初期費用のみ)
- ・事業費 62,285千円 ※撤去費相当額 238,240千円
(解体費128,000千円、産廃処分費100,000千円、消費税10,240千円)

【基幹事業との関連性】
当該震災遺構施設と隣接して整備する移転元地を活用した(仮称)震災メモリアルパークや(仮称)震災伝承館を一体的に整備することにより、当該区域を本市の追悼祈念エリアとして、震災による津波の災禍を、後世にわたり保存、伝承していく。それを以て、震災の教訓を活かした人々の防災意識の醸成や本市を訪れる交流人口の創出など、復興まちづくりの促進に寄与する防災集団移転元地の積極的な活用が図られる。

【事業予算内訳】
全体事業費 62,285千円
(内訳)

- ・実施設計費 3,313千円 ※今回申請
- ・工事費 58,972千円 ※概算

以上

※ この様式は、原則として、参考様式第29及び参考様式第32の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 「全体事業費」は、細要素事業(当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。)について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

事業番号	★ D 23 - 2 - 83	1/1
要綱上の事業名称	被災者へのコミュニティ活動支援事業	
細要素事業名	(仮称) 震災メモリアルパーク整備事業	
全体事業費	99,904 (千円)	実施設計費 15,909千円 ※今回申請 工事費 83,995千円 ※概算
<p>【事業概要】 本市は、東日本大震災により甚大な被害を受けた J R 旧野蒜駅プラットホームを、震災の経験と教訓を後世に引き継ぎ、防災意識の醸成を図るための象徴的な施設として「震災遺構」に指定し整備する。 それと併せ、「震災遺構」に隣接する防災集団移転元地を活用し、市内外から訪れる人が、未曾有の被害をもたらした震災によって犠牲となった方々や、かつてのまちの賑わいに思いを馳せ、鎮魂と追悼の意を込めた祈り、手を合わせることができるメモリアルな場として緑地整備するための実施設計業務を行うもの。</p> <p>(平成27年度スケジュール予定) 9～11月 実施設計業務 12～3月 整備工事</p> <p>(当該施設規模) ・敷地面積 8,398㎡ (単価：11,896円/㎡) ・整備内容 広場整備 (園路、植栽含む)、休憩スペース設置 ※当該施設の整備用地は、防集移転元地であり、買取済みである。一部JR東日本の所有となっている箇所があるが、市側への譲渡について双方合意済。手続き完了までの間については無償にて貸借する旨双方合意済である。</p> <p>【基幹事業との関連性】 震災による津波の災禍を、後世にわたり保存・伝承していくための「震災遺構」と併せ、隣接する防災集団移転元地を、鎮魂と復興祈念の象徴として、周りの喧騒と一線を画し静的な空間を創出するために緑地整備することで積極的な活用を図る。 暮らしや生業、コミュニティなど、人々の物心両面に計り知れない被害をもたらした震災の記憶を語り、思いを共有する場、震災で犠牲になった人々の鎮魂と復興を祈念する心よりどころ、震災の教訓を防災教育に活かし防災意識の醸成に寄与する場として、人々が集い、交流人口を創出し、移転元地の積極的な活用を図り、被災地域のコミュニティの再生と活性化につなげる。</p> <p>【事業予算内訳】 全体事業費 99,904千円 (内訳) ・実施設計費 15,909千円 ※今回申請 ・工事費 83,995千円 ※概算</p>		

※ この様式は、原則として、参考様式第 2 9 及び参考様式第 3 2 の別添 2 に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 「全体事業費」は、細要素事業 (当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。) について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

参考様式第 2 9 及び参考様式第 3 2 の別添 3
市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 23 - 2 - 84	1/1						
要綱上の事業名称	復興地域づくり加速化事業							
細要素事業名	(仮称) 震災伝承館整備事業							
全体事業費	79,406 (千円)	実施設計費 17,401千円 ※今回申請 工事費 62,005千円 ※概算						
<p>【事業概要】 本市は、東日本大震災により甚大な被害を受けた J R 旧野蒜駅プラットホームを、震災の経験と教訓を後世に引き継ぎ、防災意識の醸成を図るための象徴的な施設として「震災遺構」に指定し整備する。 本事業は、「震災遺構」に隣接する既存公共施設を活用し、「震災前のかつての人々のくらしや生業、まちの風景」「震災の記憶」「震災後の復興まちづくりの道程」と、震災前から今、そして未来への歩みに関する記録、情報を一体的に保存・展示することで、市内外から訪れる人々にその経験と教訓を伝え、震災遺構を中心とした防災集団移転元地の利活用及び復興のまちづくりの加速化を図るため、(仮称) 震災伝承館及び付帯する駐車場を整備するための実施設計業務を行うもの。</p> <p>(平成27年度スケジュール予定)</p> <table border="0"> <tr> <td>① (仮称) 震災伝承館</td> <td>② 駐車場</td> </tr> <tr> <td>9～11月 実施設計業務</td> <td>9～11月 実施設計業務</td> </tr> <tr> <td>12～3月 整備工事</td> <td>12～3月 整備工事</td> </tr> </table> <p>(当該施設規模)</p> <ul style="list-style-type: none"> 敷地面積803㎡、建物床面積596.49㎡、施工面積377.55㎡、駐車場面積4,455㎡ ※既存公共施設を活用するため、本事業では当該施設内の内装工事や展示工事を行うもの。駐車場については、整備予定の震災遺構や震災メモリアルパークと共有する。 <p>【基幹事業との関連性】 「震災遺構」と併せ、防災集団移転元地を活用し、(仮称) 震災伝承館及びメモリアルパークを一体的に整備する。 震災による津波の災禍を、後世にわたり保存、伝承していくことで、震災の教訓を活かした人々の防災意識の醸成や本市を訪れる交流人口の創出など、復興まちづくりの促進に寄与する防災集団移転元地の積極的な活用を図る。</p> <p>【事業予算内訳】 全体事業費 79,406千円 (内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施設計費 17,401千円 ※今回申請 <ul style="list-style-type: none"> ① (仮称) 震災伝承館実施設計業務 4,406千円 ② 駐車場実施設計業務 12,995千円 ・工事費 62,005千円 ※概算 <ul style="list-style-type: none"> ① (仮称) 震災伝承館整備工事費 25,554千円 ② 駐車場整備工事費 36,451千円 <p style="text-align: right;">以上</p>			① (仮称) 震災伝承館	② 駐車場	9～11月 実施設計業務	9～11月 実施設計業務	12～3月 整備工事	12～3月 整備工事
① (仮称) 震災伝承館	② 駐車場							
9～11月 実施設計業務	9～11月 実施設計業務							
12～3月 整備工事	12～3月 整備工事							

※ この様式は、原則として、参考様式第 2 9 及び参考様式第 3 2 の別添 2 に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 「全体事業費」は、細要素事業（当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。）について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

参考様式第 2 9 及び参考様式第 3 2 の別添 3
市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

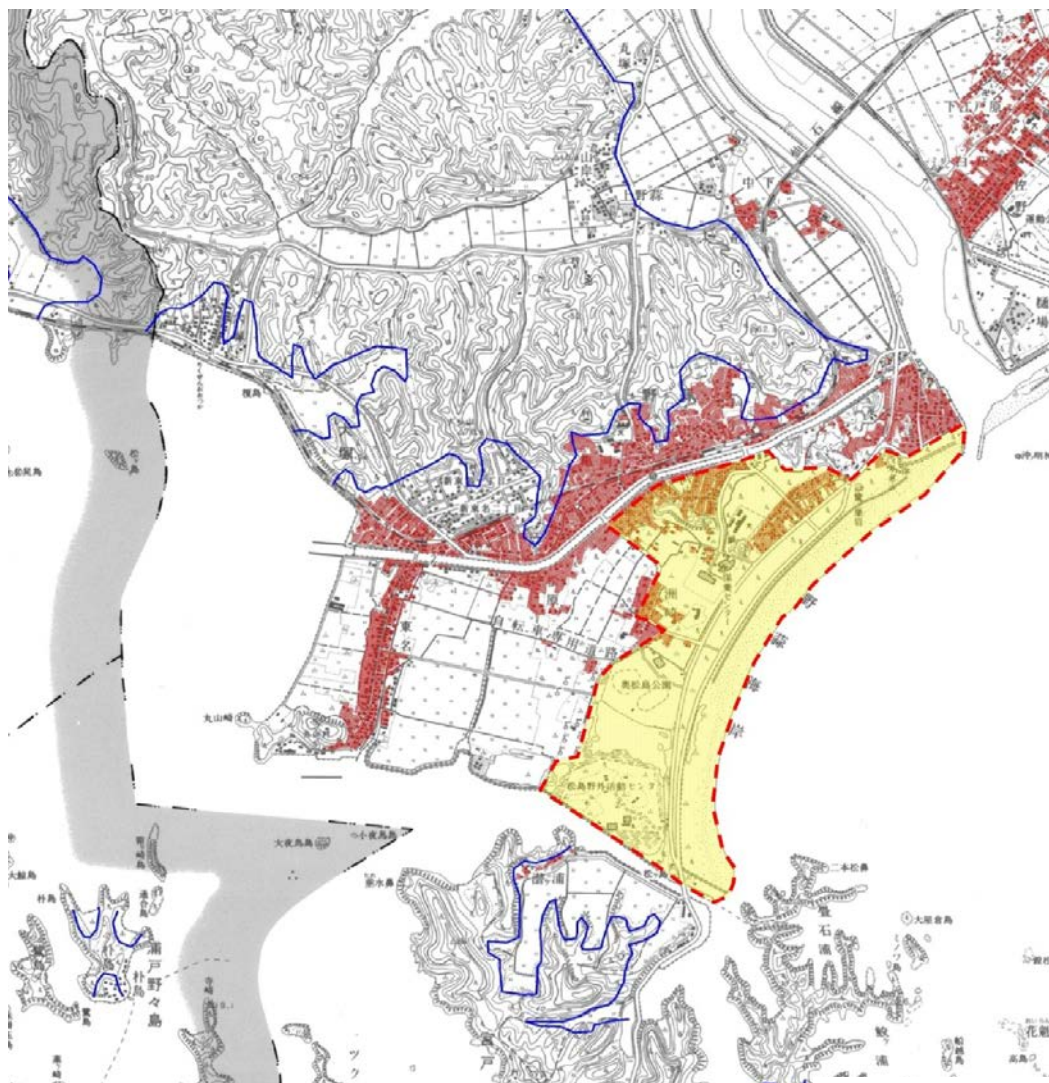
事業番号	★ D 23 - 2 - 85	1/2
要綱上の 事業名称	(5) 移転促進区域が含まれる区域の土地利用計画策定調査事業	
細要素事業名	東名運河南移転元地活用基本計画策定事業 (測量・基本設計)	
全体事業費	10,600 (千円)	
<p>【事業概要】 東日本大震災に伴う津波により甚大な被害を受けた野蒜地区では、高台である野蒜北部丘陵に新市街地を整備し、防災集団移転等の事業が進捗している。 野蒜地域の防潮堤復旧や道路復旧等のインフラ復旧整備事業が平成 3 0 年度の完了が見込まれることから、海水浴場等の観光・交流施設を核とした野蒜海岸周辺地域の観光活用を目的とし、周辺の移転促進区域における移転元地活用を地域住民との合意形成を図りながら、土地利用計画を策定するもの。</p> <p>(工程) 基本計画策定業務期間：平成27年9月～平成28年3月末迄</p> <p>【基幹事業との関連性】 野蒜海岸海水浴場や周辺地域の観光活用を目的とした土地利用計画の策定やそれに基づく拠点整備により、移転元地の利活用や雇用創出を図り、防災集団移転促進事業の事業効果を促進する。</p> <p>【事業予算内訳】</p> <p>東名運河南移転元地活用基本計画策定事業 (測量・基本設計) 10,600千円 (①+②+③ ※10万円未満切捨て)</p> <p>(内訳)</p> <p>①基本計画 8,695千円 調査地区の設定、条件調査、現地踏査、実態調査、課題設定と前提条件整理、計画テーマ設定、基本構想作成、実施方策検討、資料作成、設計協議 ほか</p> <p>②海岸深淺測量 1,145千円 海岸深淺測量は、海水浴場の安全な場所を特定するために実施するものであり、具体的には、船舶による音波を使った海底横断測量を行うもの。</p> <p>③消費税 787千円</p> <p style="text-align: right;">以上</p>		

- ※ この様式は、原則として、参考様式第 2 9 及び参考様式第 3 2 の別添 2 に記載した細要素事業ごとに作成してください。
- ※ 「全体事業費」は、細要素事業 (当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。) について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。
- ※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

参考様式第29及び参考様式第32の別添3
市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 23 - 2 - 85	2/2
要綱上の 事業名称	(5) 移転促進区域が含まれる区域の土地利用計画策定調査事業	
細要素事業名	東名運河南移転元地活用基本計画策定事業 (測量・基本設計)	
全体事業費	10,600 (千円)	

【事業位置図】



【凡例】	
	事業対象エリア
	移転促進区域
	津波浸水区域

- ※ この様式は、原則として、参考様式第29及び参考様式第32の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。
- ※ 「全体事業費」は、細要素事業（当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。）について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。
- ※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

事業番号	★ D 23 - 2 - 86	1/1
要綱上の事業名称	復興地域づくり加速化事業	
細要素事業名	東松島市被災子育て世代支援ビジョン策定事業	
全体事業費	3,564 (千円)	
<p>【事業概要】</p> <p>東日本大震災から4年以上が経過した本市では、防災集団移転団地や災害公営住宅等の整備が進み、新たな場所で生活を始めた市民がいる一方で、現在も2千人以上の市民が、応急仮設住宅等で暮らしている。このような現状において、移転先に移り、新たな環境下で生活することや、不便な環境で長時間暮らすことによる心身の不調、ストレス、不安を訴える子育て世代が多く、親子の心身のケア、特に変化に敏感な子どもたちへの心のケアの必要性が高まっている。また、このような状況下で、育児不安についての相談が増加しているほか、震災により子供たちが遊べる公園等が被災し、遊び場が不足していることで、子ども達の肥満が問題となっている。</p> <p>以上を踏まえ、本事業は子育てに関連するニーズや課題に対応すべく、子育て世代へのケアや子供たちを安心して育てられる環境整備についての方針を定める「東松島市被災子育て世代支援ビジョン」を策定するもの。</p> <p>(平成27年度事業スケジュール予定)</p> <p>9月～3月 協議会運営 12月～3月 基本構想(ビジョン)まとめ</p> <p>【基幹事業との関連性】</p> <p>本事業は、防災集団移転団地や災害公営住宅等に居住する子育て世代、子供たちへのケアや、震災に起因する様々な課題がある中でも安心して子育てを行う環境を整備するため、整備方針を定めた「東松島市被災子育て世代支援ビジョン」を策定するもの。これにより、防災集団移転促進事業の実施効果を促進する。</p> <p>【事業予算内訳】</p> <p>東松島市被災子育て世代支援ビジョン策定事業 3,564千円</p> <p>(内訳)</p> <p>東松島市被災子育て世代支援ビジョン策定業務一式 3,564千円 現状把握、ビジョン策定、協議会運営支援 ほか</p>		

※ この様式は、原則として、参考様式第29及び参考様式第32の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 「全体事業費」は、細要素事業(当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。)について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。